

5. 検体採取方法

新型コロナウイルス PCR 検査は検体として唾液を使用します。検査キットに含まれる採取器具で唾液を採取して、ウイルス不活化/保存/輸送用試薬と混ぜることで、ウイルスを不活性化（感染性を無くさせること）させると同時に RNA を安定化させます。本項では、検体採取方法について説明します。

5. 1. 検体採取キットの構成品および事前に準備するもの

検査キットの構成品を図 2 に示します。別途、黒のボールペン、ティッシュ、アルコール消毒液を準備してください。



- ✓ 検体採取は①～③までの資材を使用します。
- ✓ ④、⑤の資材は、検体搬送で使用します。

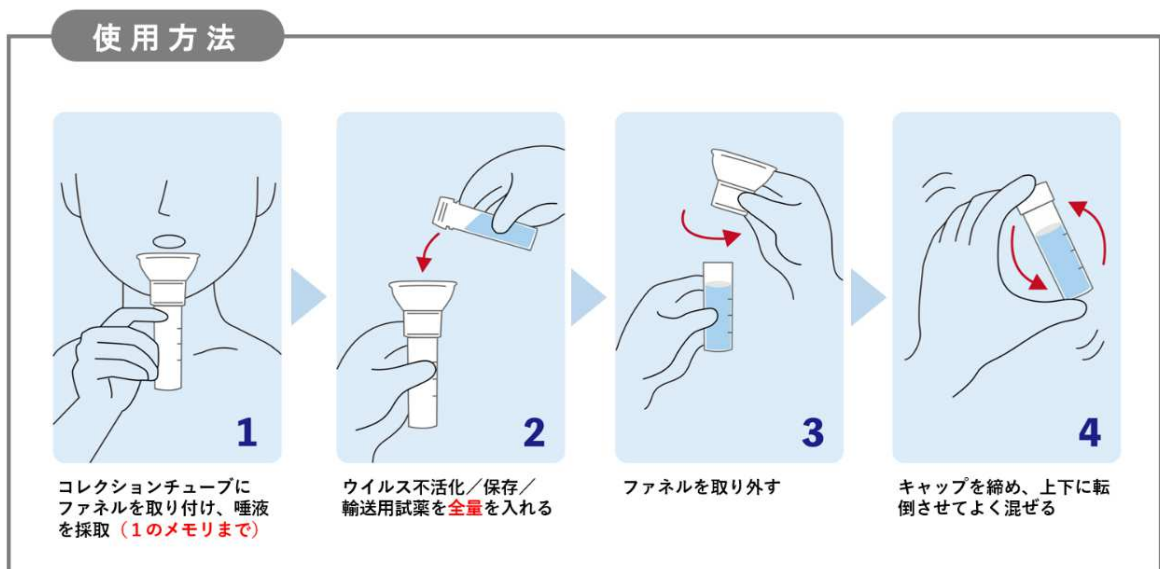
図 2 検査キット構成品

5. 2. 採取時間

- 望ましい時間は起床直後、口をすすぐ前に採取願います。
- 症状がある場合は採取時間について特段の指定はありません。
- 飲食後あるいは歯磨き・うがい後 1 時間は採取をお控えください。

5. 3. 採取方法

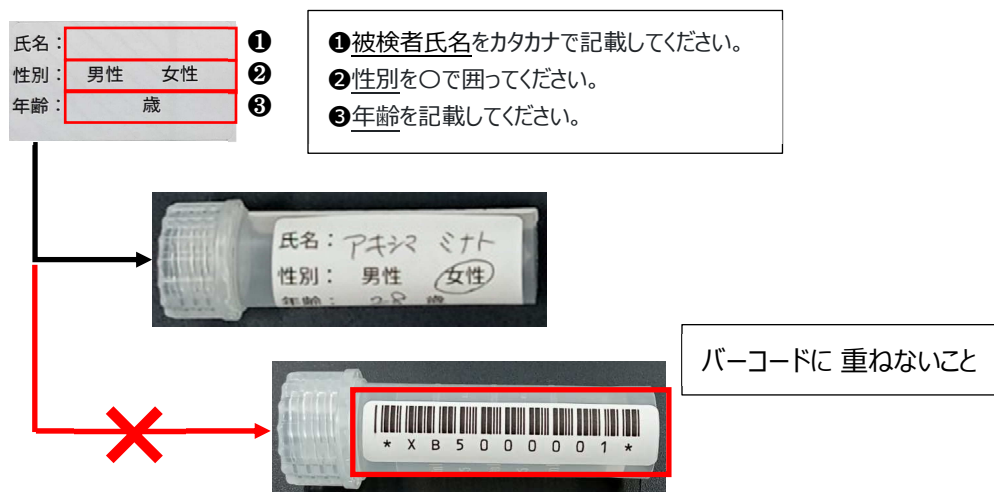
- ① 図 3 に唾液採取方法を示します。下記の間違えが発生しやすいので十分ご注意ください。
- 唾液採取量が正確でない（2 ml 以上の唾液を採取してしまう、あるいは極端に唾液量が少ない）。正確に 2 ml ではなくても問題ありませんが、1 ml 未満や 3 ml 超過の場合は検査品質に影響を及ぼす場合があります。唾液採取器具のチューブ横に 2 ml の目盛りがありますので、この目盛りを目安に唾液を採取してください。
 - ウイルス不活化/保存/輸送用試薬を入れると全量 4~5 ml 程度になりますが、その後、2 ml になるように液体を捨ててしまう。液体は捨てないでください。
 - ウイルス不活化/保存/輸送用試薬は中身の液体のみ入れますが、容器ごと入れてしまう。中身の液体のみ入れてください。
 - チューブに脱脂綿等の紙類をいれてしまう。ウイルス不活化/保存/輸送用試薬以外のものは入れないでください。
 - ファネルをつけたまま、あるいは赤いキャップをしないで提出してしまう。液漏れが起きないように、赤いキャップはしっかり締めてください。



※唾液の採取は飲食、歯磨き、うがい後、1時間以上経ってからお願いします。
（正確な検査ができなくなる為です）

図 3：唾液採取方法

- ② 検体ラベルに黒のボールペンで氏名、性別、年齢を記載して、チューブの白地部分に貼付してください。バーコード及びチューブメモリに重ならないようご注意ください。以下、この 5 ml コレクションチューブ横に貼付されているバーコードのことをチューブ ID と呼びます。



- ③ 唾液をこぼした場合はアルコール消毒液を使用してふき取ってください。

5. 4. 検体搬送するまでの一時保管

検体提出前の一時保管は室温で構いませんが、弊社が検体受付する時点で 7 日を超えないように搬送してください。弊社営業日にご注意ください。やむを得ず 7 日を超える場合は事前にご相談ください。

5. 5. 注意事項

- 検体採取時の飛沫による感染に十分ご注意ください。
- 検体採取は正確に実施してください（5. 3. 採取方法を参照してください）。
- 唾液採取容器に検体ラベルの貼付が無い場合は検査をお断りすることがあります。
- 検体ラベルがバーコードに重なって貼付されていた場合は検査をお断りすることがあります。
- ウイルス不活化/保存/輸送用試薬が手や目に触れた場合は直ちに流水で洗浄し、異常を感じた場合は医師の診察を受けてください。